

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		車椅子を使用している入居者が立ち上がり時に転倒の危険性があり、安全ベルトを使用している。	安全ベルトを使用しない。	スタッフが見守りして安全ベルトを使用しないで生活出来る環境を提供する。和室で休んでもいただいたり、レクリエーションをしたりと自由な時間を作る。	3ヶ月
2		入居者の個々の生活を重視していることから入居者全員での取り組みがあまり見られない。	週間でレクリエーション等の計画を立て、実践して心身機能の活性化を目指す。	一人、一人の好むレクリエーション等を調査し、入居者が取り組みやすいものを日々、実践して入居者に好まれるレクリエーションを習慣化していく。	3ヶ月
3		消防訓練だけでなく、地震や水害等の災害時に備えて対応が出来るようにしたい。	マニュアルを作成し、訓練を行う。	消防署や周囲のグループホーム等に相談・助言をもらいながら、マニュアルを作成し、これまでの消防訓練と一緒に取り組んでいく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。